

地域総合



◇身近な情報をお寄せください

＜茨城新聞ホームページ＞
<http://ibarakine.ws.jp>

松陰重宝した「赤水図」

顕彰会 原寸大のレプリカ販売

高萩市出身で江戸時代の地理学者、長久保赤水(1717～1801年)の功績を伝える長久保赤水顕彰会(佐川春久会長)は、赤水が作った地図の原寸大レプリカの販売



「赤水図」の原寸大レプリカをPRする長久保赤水顕彰会の佐川春久会長(高萩市役所)

を始めた。幕末の思想家、吉田松陰も赤水図を重宝したと考えられることから、松陰が東北での旅について書き記した「東北遊日記」の足跡を記載している。

レプリカは両面刷りで、表面には1791年に完成した「改正日本輿地路程全図(赤水図)」の第2版を写した。松陰は1851年12月に江戸を出て翌年4月まで東北を遊歴しており、レプリカの地図上に松陰がたどった道程や宿泊地などを示した。

裏面には、赤水図の「原図」から第5版までの6図を掲載。細部を比べると、赤水が常に地図に改良を加えていっ

た変遷と努力がつかえる。

レプリカの大きさは縦84・6センチ、横128・8センチ。江戸時代と同じデザインののし袋に入れて販売する。価格は千円(税抜き)。東北遊日記や赤水図について解説する冊子も同封される。

佐川会長は「松陰も持って歩いた赤水図の果たした役割は、知られているより大きい。100年の間ベストセラーだった地図の移り変わりを見てもらえば」と話している。

郵便番号と住所、名前、必要部数を記した上で、同顕彰会ホームページの問い合わせ欄から申し込むか、佐川会長 090(1846)6849、メールアドレス haruhis.sasagawa@yahoo.co.jpまで。(小原瑛平)